

学習指導案の形式（例） 小学校音楽科

第○学年○組 音楽科 学習指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 題材名 ○○○○○○○○○
 楽曲名（作詞者・作曲者）

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。

2 本題材で扱う事項の内容

例：〔第3学年及び第4学年〕「A表現」(1)歌唱ア、イ、ウ(イ)、(2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(イ)
 〔共通事項〕(1)

◇ねらいを明確にするために、特に焦点を当てたい指導事項（内容）を絞る。
 ◇題材で扱う事項の内容の領域と記号を明記する。

3 題材の目標

◇学習指導要領で示された学年の目標及び内容を踏まえて設定する。

【例1 目標を3観点で表現する場合】
 ◇育成を目指す資質・能力に分けて書く。

- (1) 「知識及び技能」に関する目標（例：～気付く。～理解する。～身に付ける。等）
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する目標（例：～思いや意図をもつ。～味わって聴く。等）
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標（例：～親しむ。等）

【例2 目標を一文で表現する場合】

例：「とんび」、「エーデルワイス」の曲想と音楽の構造との関わりなどについて気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付けながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、思いや意図をもって歌ったり演奏したりし、日本のうたやリコーダーに親しむ。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①例：～している。	①例：～している。	①例：～しようとしている。
◇「思考・判断・表現」の評価規準は、その題材の学習において児童の思考・判断のよりどころとなる、主な音楽を形づくっている要素を適切に選択する。		
◇「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準は、その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要となる、取り扱う楽曲の特徴や学習内容等、興味・関心をもたせたい事柄を文頭に示す。		

5 指導と評価の計画（全○時間）

次	時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動	知・技	思	態
			〈 〉内は評価方法		
一	1	(例)			
		◆「とんび」の曲の特徴を捉えた表現を工夫して歌う。			
		○「とんび」の歌詞の表す様子や旋律の反復など曲の特徴を捉える。 ・範唱を聴いて感じたことを発表する。			

6 指導上の立場

- 題材観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連

◇指導者の立場で書く。

- ◇題材観…題材の内容、既習事項との関連、本題材で身に付けさせた資質・能力等について書く。
- ◇児童観…本題材に関する興味・関心、資質・能力の状況、本題材を通して目指す児童の姿等について書く。
- ◇指導観…指導・支援の重点、学習形態、その他の配慮事項等、児童のよさや可能性を生かすような指導方法の工夫等を書く。
- ◇研究主題との関連…研究主題の説明を簡潔に書き、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。

7 本時案（第○次第○時）

◇「3 題材の目標」「5 指導と評価の計画」との整合を図る。
 ◇本時の評価規準との整合を図る。◇児童の立場で書く。

(1) 本時の目標

例：～演奏しよう。～味わって聴こう。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1 ◇児童の立場で書く。	○ ◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。
2 (1) ◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。 (2) 例：～について話し合う。 ◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、児童の学習活動を具体的に書く。 ◇授業展開については、「岡山型学習指導のスタンダード（授業5）」を参考にする。	○ めあて ◇児童の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。 ○例：～について気付いたことを生かして表現を工夫し、思いや意図をもつ。 ◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。 ・児童が主体的に学習を進めるための手だて ・児童が対話的に学習を進めるための手だて ・児童が学習を深めるための手だて ・児童一人一人の学習状況に応じた手だて ・予想される児童の反応 ・資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物 等 ◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。 ◇「努力を要する」状況（C）と判断される児童への手だてを書く。	◇本時の目標と整合した評価規準を具体的に書く。 ◇観点別の学習状況の評価の内容や時間の間まに、それぞれの実現を把握できような場面を精選する。 ◇評価規準に合わせて、評価の観点を明記する。 ◇評価方法を書き具体的に書く。 (例) ・発言内容等の観察、ノートやワークシートへの記述、演奏の聴取等
3 4	○ ○	○例：～どのように表すかについて思いや意図をもっている。 [評価の観点] (評価方法)
5	○ まとめ ◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。 ◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一步先へ!」』を参考にする。	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿 例：～している。

◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿について、想定される児童の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。